

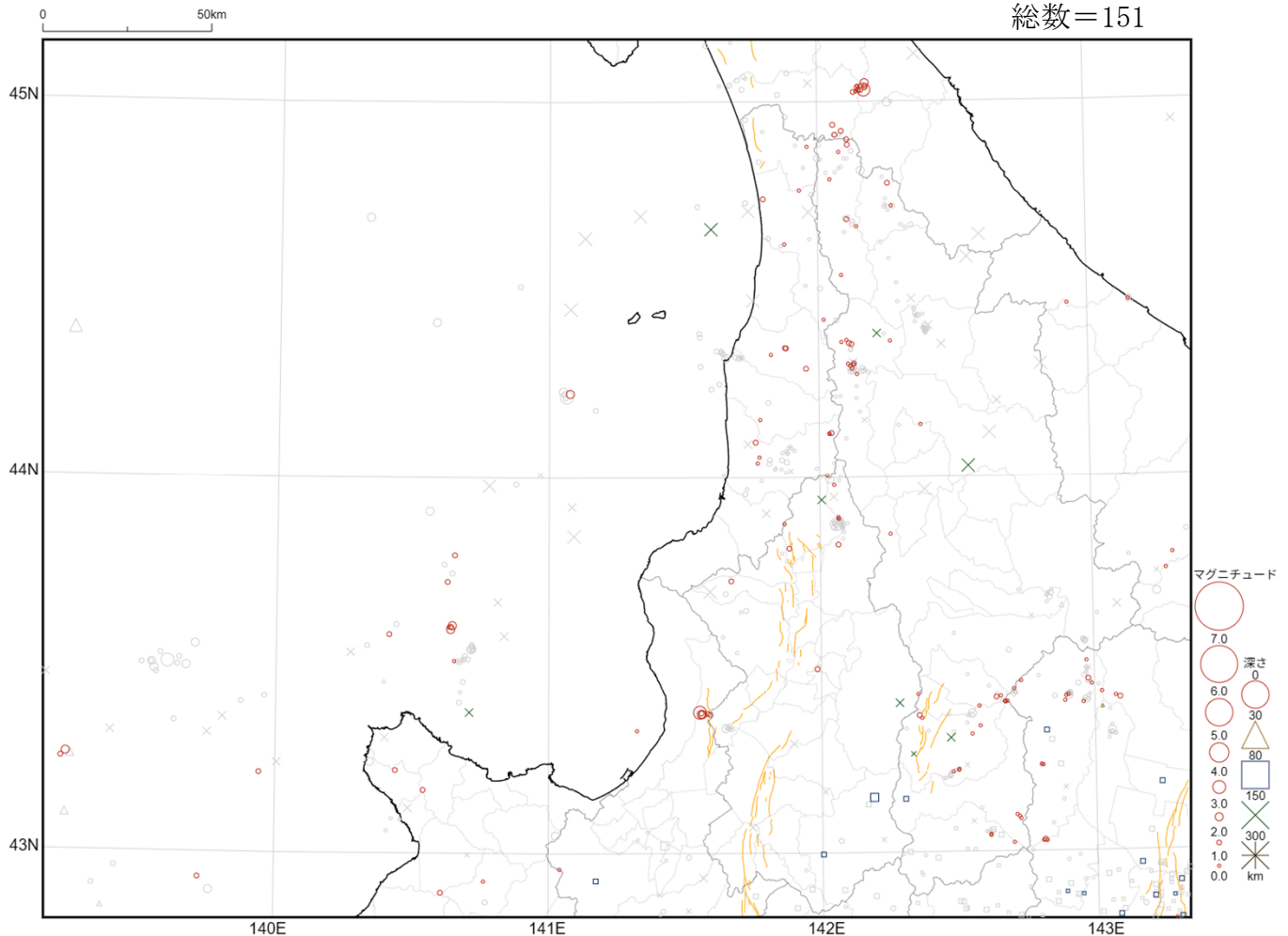
上川・留萌地方の地震活動図

2025年12月

旭川地方気象台

震央分布図

総数=151



- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

地震概況（2025年12月）

この期間、上川・留萌地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（11月は3回）でした（「上川・留萌地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

2日19時03分、釧路沖の地震（M5.2、深さ45km、震央分布図の範囲外）により、南富良野町で震度1を観測しました。

8日23時15分、青森県東方沖（M7.5、深さ54km、震央分布図の範囲外）により、剣淵町、富良野市、中富良野町で震度4を観測したほか、上川・留萌地方で震度3～2を観測しました。

9日06時52分、青森県東方沖（M6.6、深さ15km、震央分布図の範囲外）により、剣淵町、中富良野町で震度2を観測したほか、上川・留萌地方で震度1を観測しました。

10日23時52分、青森県東方沖（M6.0、深さ36km、震央分布図の範囲外）により、剣淵町、中富良野町で震度2を観測したほか、上川・留萌地方で震度2～1を観測しました。

12日11時44分、青森県東方沖（M6.9、深さ17km、震央分布図の範囲外）により、中富良野町で震度3を観測したほか、上川・留萌地方で震度2～1を観測しました（「主な地震の解説」参照）。

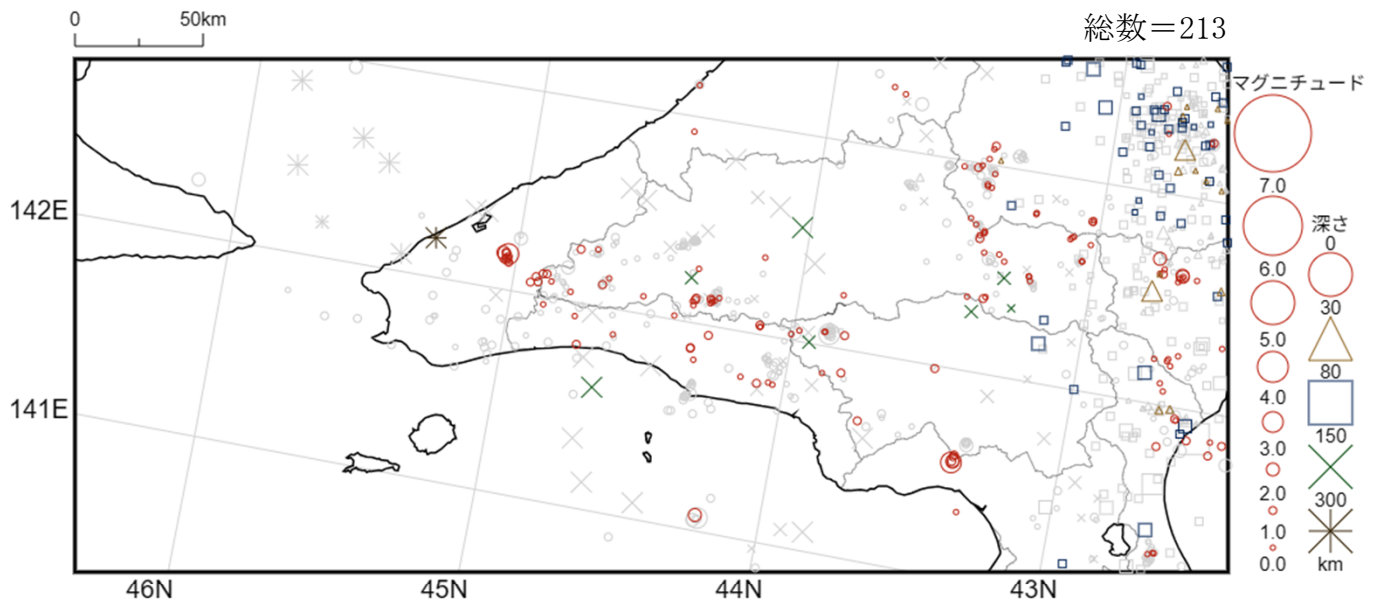
この活動図は、旭川地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/>

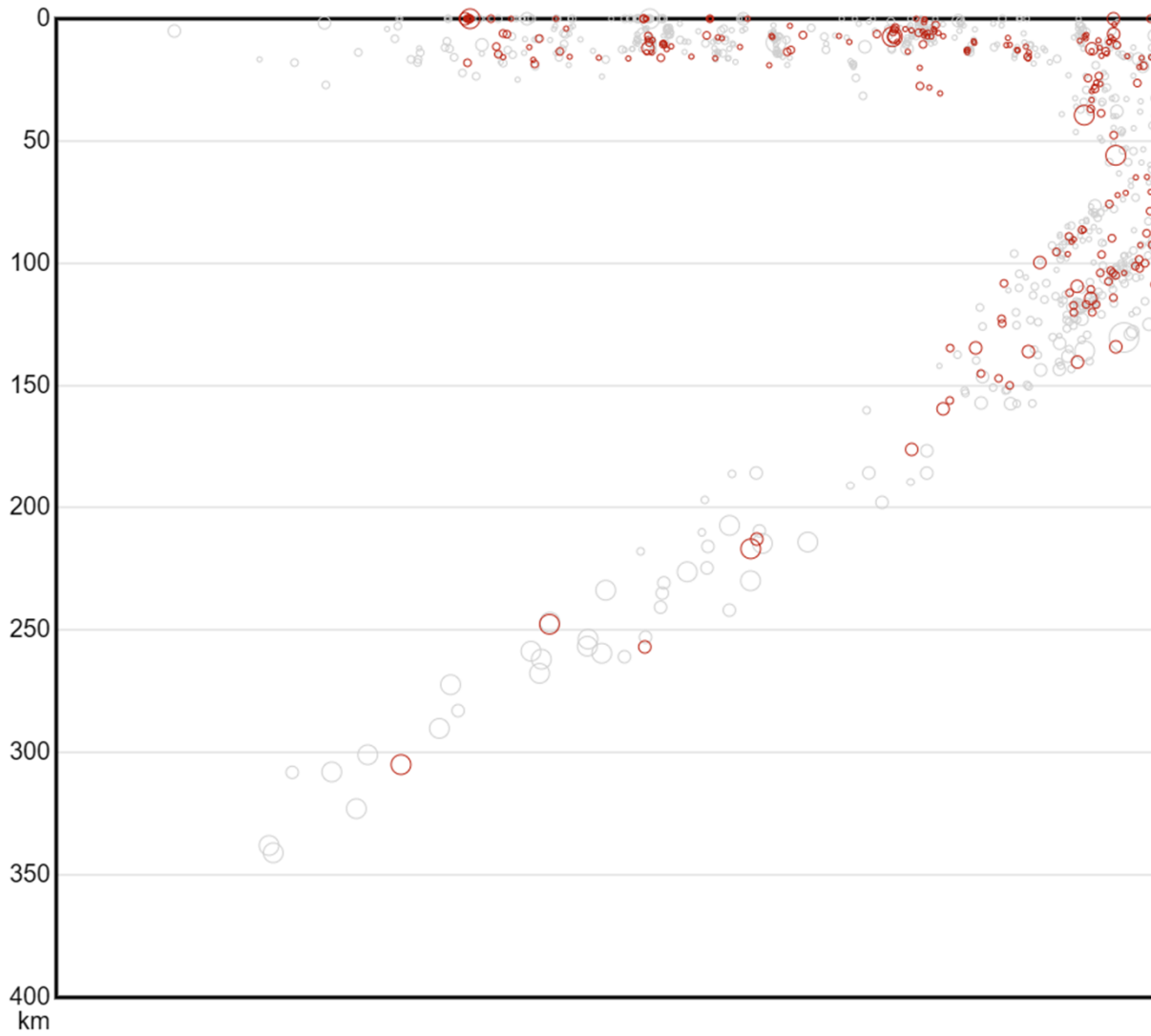
この資料に関する問い合わせ先 旭川地方気象台 TEL 0166-32-7102

2025年12月

震央分布図



断面図

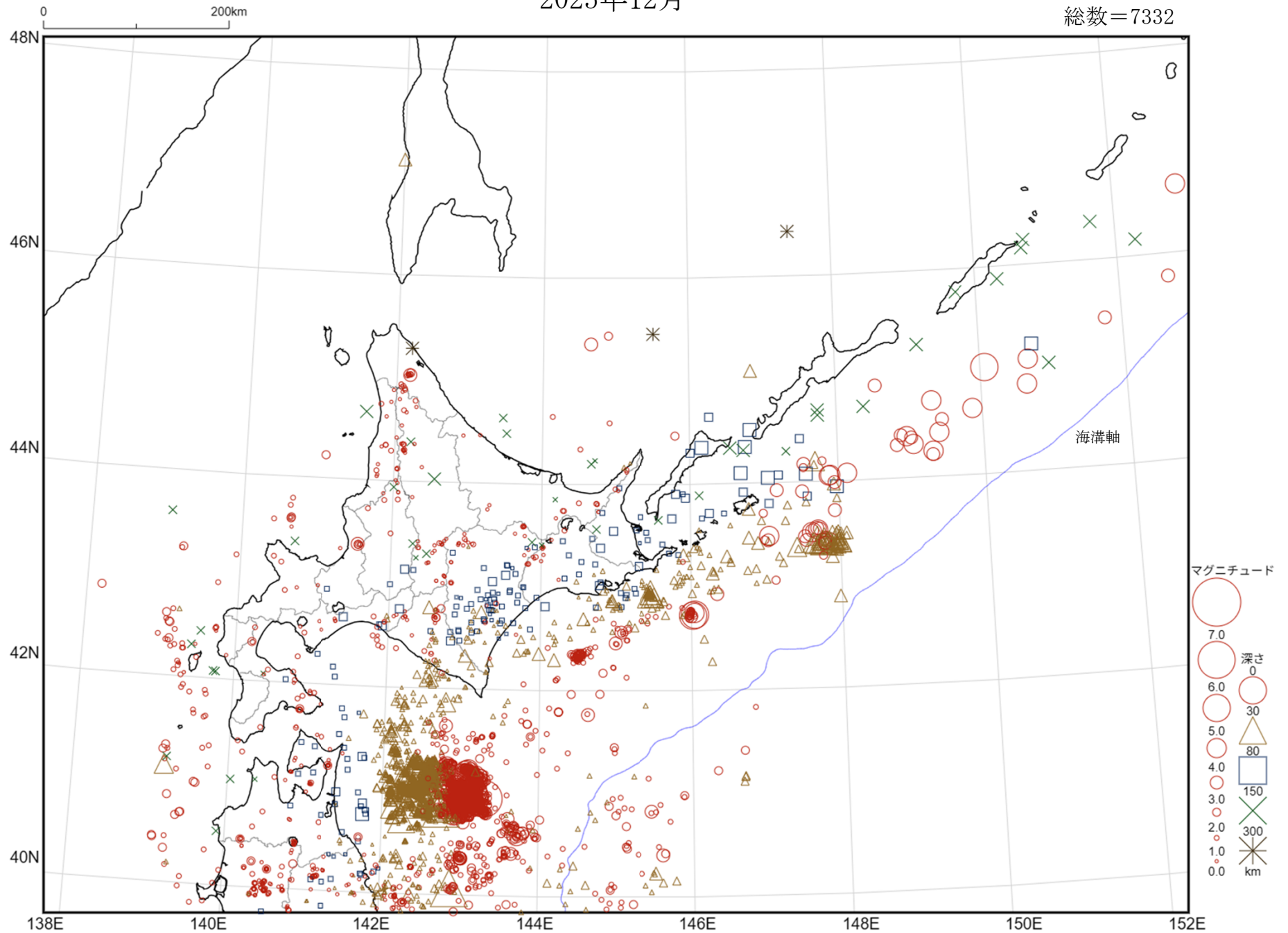


北海道の地震活動図

震央分布図

2025年12月

総数=7332



上川・留萌地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (2025年12月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
1	2025年12月 2日 上川地方	19時03分 震度 1	釧路沖 南富良野町役場＊(07)	42° 56.3′ N	145° 27.5′ E	45 km	M5.2
2	2025年12月 8日 上川地方	23時15分 震度 4 震度 3 震度 2 留萌地方 震度 3 震度 2	青森県東方沖 釧路町仲町＊(37) 富良野市若松町(37) 中富良野町本町＊(40) 士別市東 6 条(27) 士別市東 3 条＊(26) 名寄市風連町＊(25) 和寒町西町＊(26) 美深町西町＊(26) 旭川市宮前 1 条(29) 旭川市 7 条＊(28) 鷹栖町南 1 条＊(28) 東神楽町南 1 条＊(29) 当麻町 3 条＊(29) 比布町北町＊(28) 東川町東町＊(25) 美瑛町本町＊(29) 美瑛町忠別＊(32) 富良野市末広町＊(34) 上富良野町大町(29) 南富良野町幾寅(31) 南富良野町役場＊(33) 占冠村中央＊(33) 士別市朝日町(20) 名寄市大通(24) 名寄市西 5 条＊(24) 下川町北町＊(23) 美深町仁宇布＊(15) 音威子府村音威子府＊(16) 上川中川町中川＊(16) 幌加内町平和＊(24) 幌加内町朱鞠内＊(22) 愛別町南町＊(21) 上川地方上川町越路(23) 上川地方上川町花園町＊(21) 上川地方上川町清川＊(16) 羽幌町南町＊(25) 留萌市幸町＊(28) 増毛町見晴町＊(33) 増毛町岩尾＊(26) 苫前町旭＊(22) 羽幌町南 3 条(24) 初山別村有明(20) 初山別村初山別＊(18) 遠別町本町＊(21) 天塩町川口＊(22) 留萌市大町(23) 小平町鬼鹿＊(21) 小平町達布＊(24)	40° 58.0′ N	142° 17.2′ E	54 km	M7.5
3	2025年12月 9日 上川地方	06時52分 震度 2 震度 1 留萌地方 震度 1	青森県東方沖 釧路町仲町＊(15) 中富良野町本町＊(15) 富良野市若松町(14) 富良野市末広町＊(11) 南富良野町役場＊(08) 占冠村中央＊(12) 増毛町見晴町＊(13)	40° 56.6′ N	143° 18.0′ E	15 km	M6.6
4	2025年12月10日 上川地方	23時52分 震度 2 震度 1 留萌地方 震度 2	青森県東方沖 釧路町仲町＊(21) 中富良野町本町＊(19) 旭川市宮前 1 条(08) 旭川市 7 条＊(09) 美瑛町忠別＊(12) 富良野市若松町(13) 富良野市末広町＊(13) 上富良野町大町(09) 南富良野町幾寅(10) 南富良野町役場＊(13) 占冠村中央＊(13) 増毛町見晴町＊(15)	40° 50.1′ N	142° 45.3′ E	36 km	M6.0
5	2025年12月12日 上川地方	11時44分 震度 3 震度 2 震度 1 留萌地方 震度 2 震度 1	青森県東方沖 中富良野町本町＊(25) 釧路町仲町＊(23) 旭川市宮前 1 条(15) 旭川市 7 条＊(15) 鷹栖町南 1 条＊(15) 東神楽町南 1 条＊(15) 当麻町 3 条＊(17) 美瑛町忠別＊(17) 富良野市若松町(20) 富良野市末広町＊(20) 南富良野町幾寅(15) 南富良野町役場＊(18) 占冠村中央＊(20) 和寒町西町＊(14) 幌加内町平和＊(12) 美瑛町本町＊(12) 上富良野町大町(14) 留萌市幸町＊(17) 増毛町見晴町＊(23) 羽幌町南 3 条(14) 羽幌町南町＊(14) 初山別村有明(08) 留萌市大町(12) 増毛町岩尾＊(13) 小平町達布＊(12)	40° 54.0′ N	142° 57.9′ E	17 km	M6.9

＊のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
() 内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

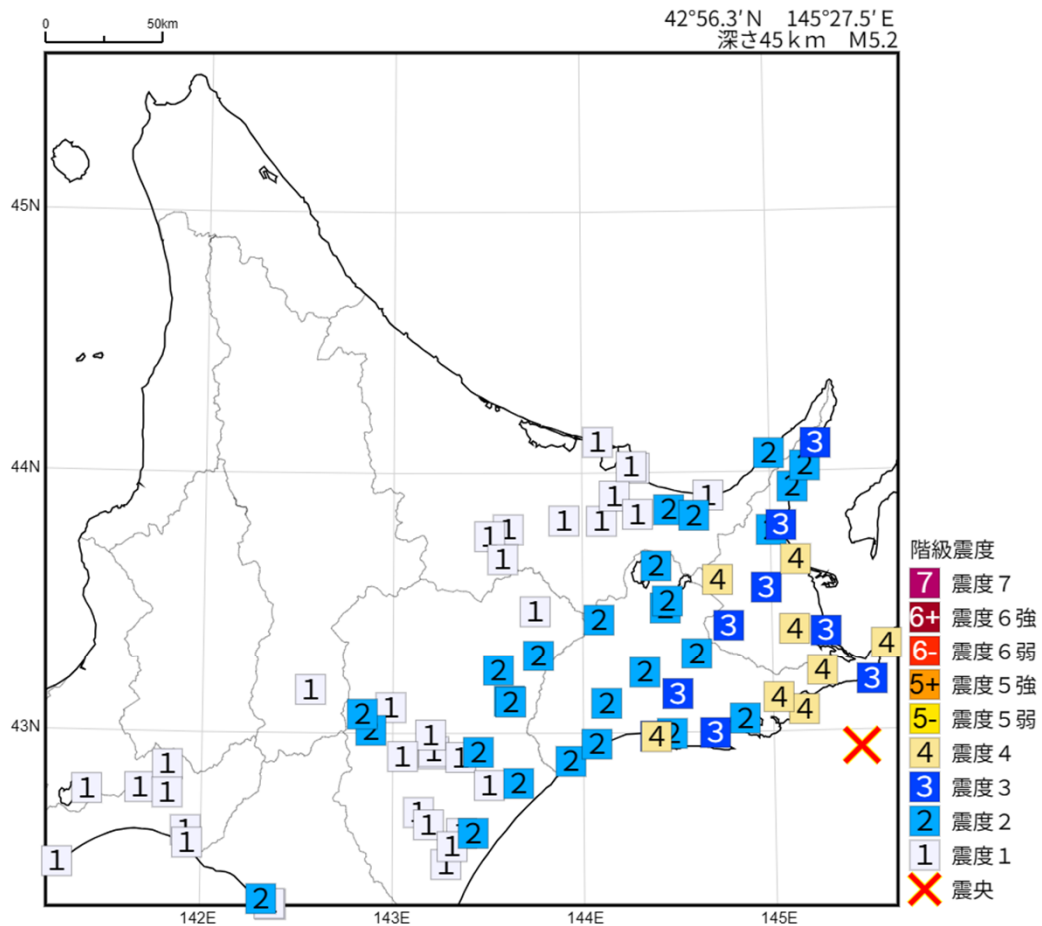
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

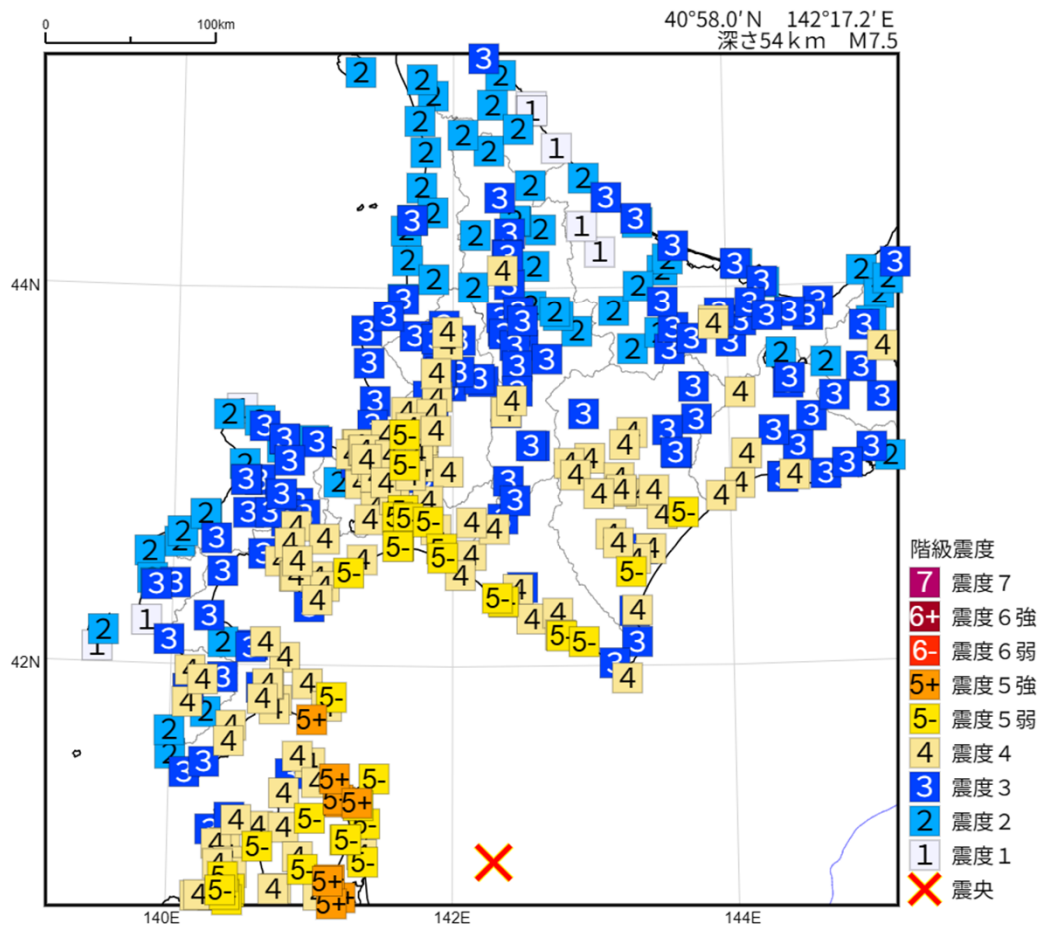
本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

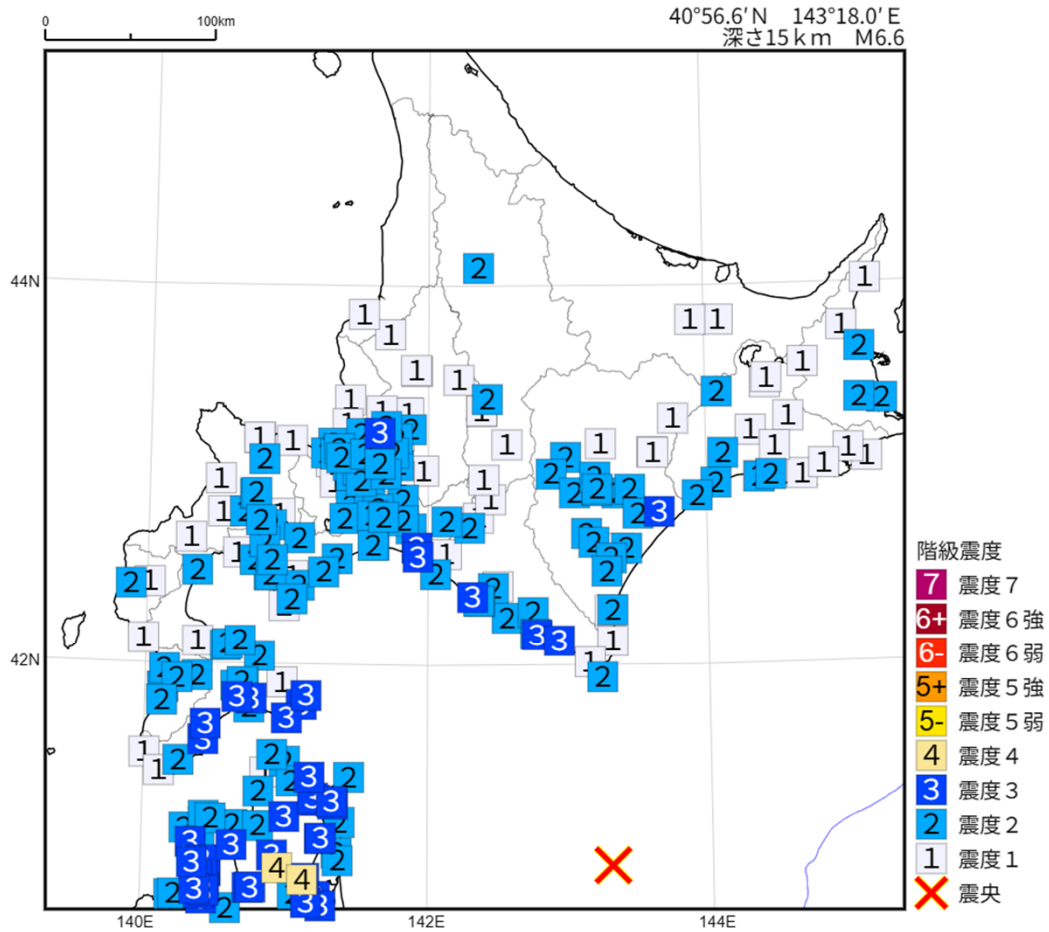
2025年12月 2日 19時03分 釧路沖の地震の震度分布図



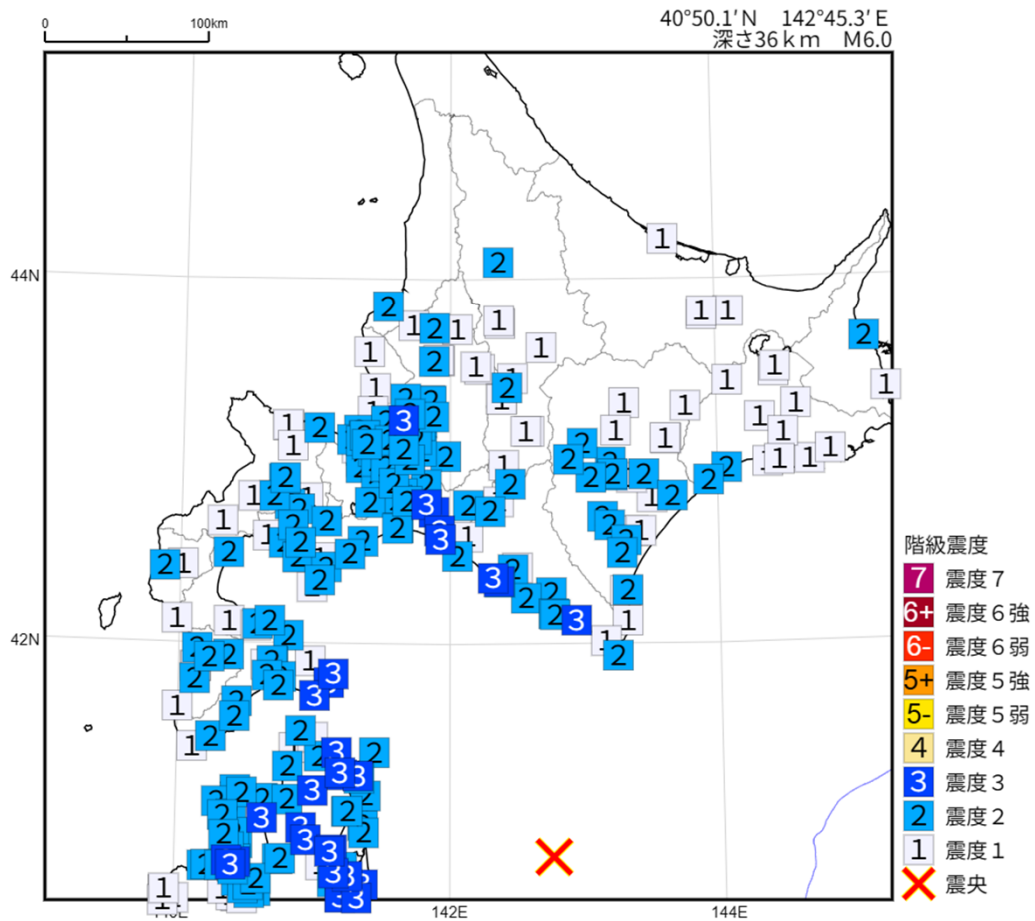
2025年12月 8日 23時15分 青森県東方沖の地震の震度分布図



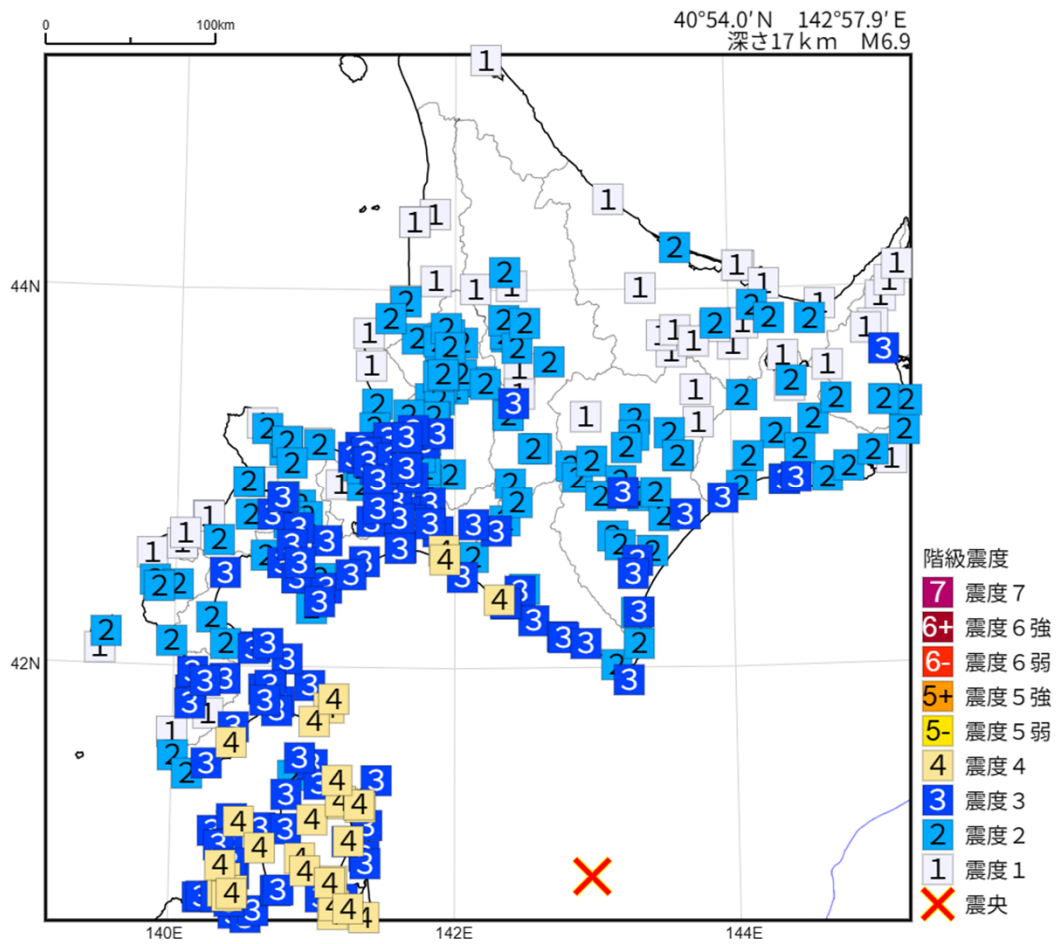
2025年12月 9日 06時52分 青森県東方沖の地震の震度分布図



2025年12月10日 23時52分 青森県東方沖の地震の震度分布図



2025年12月12日 11時44分 青森県東方沖の地震の震度分布図



令和7年12月8日および12月12日に発生した青森県東方沖の地震について（北海道内への影響）

1. 概要

令和7年12月8日23時15分に青森県東方沖で発生した地震（M7.5、深さ54km）により、青森県八戸市で震度6強を観測したほか、北海道でも震度5強～1を観測しました。この地震により青森県太平洋沿岸、岩手県、北海道太平洋沿岸中部に津波警報を、青森県日本海沿岸、宮城県、福島県、北海道太平洋沿岸（東部・西部）に津波注意報を発表し、岩手県の久慈港で64cm、北海道では浦河で50cm、十勝港で30cm、えりも町庶野で0.3m、苫小牧西港で27cm、白老港で26cmなどの津波を観測しました（いずれも暫定値）。また、北海道で長周期地震動階級2～1を観測しました。この地震により、北海道で重傷1人、軽傷10人の被害が生じました（令和7年12月16日15時00分現在、総務省消防庁による）。この地震で、9日02時に初めて北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表しました。

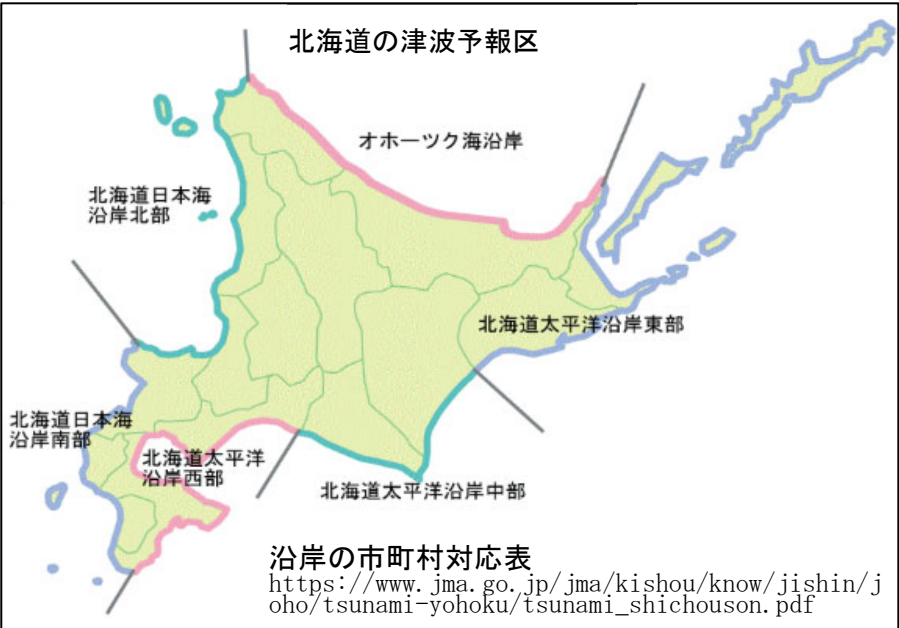
令和7年12月12日11時44分に青森県東方沖で発生した地震（M6.9、深さ17km）により、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測しました。この地震により青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、北海道太平洋沿岸中部に津波注意報を発表し、青森県の八戸港で14cm、むつ小川原港で6cm、北海道ではえりも町庶野で0.2mなどの津波を観測しました（いずれも暫定値）。また、北海道で長周期地震動階級1を観測しました。

2. 津波注意報の発表状況（道内）

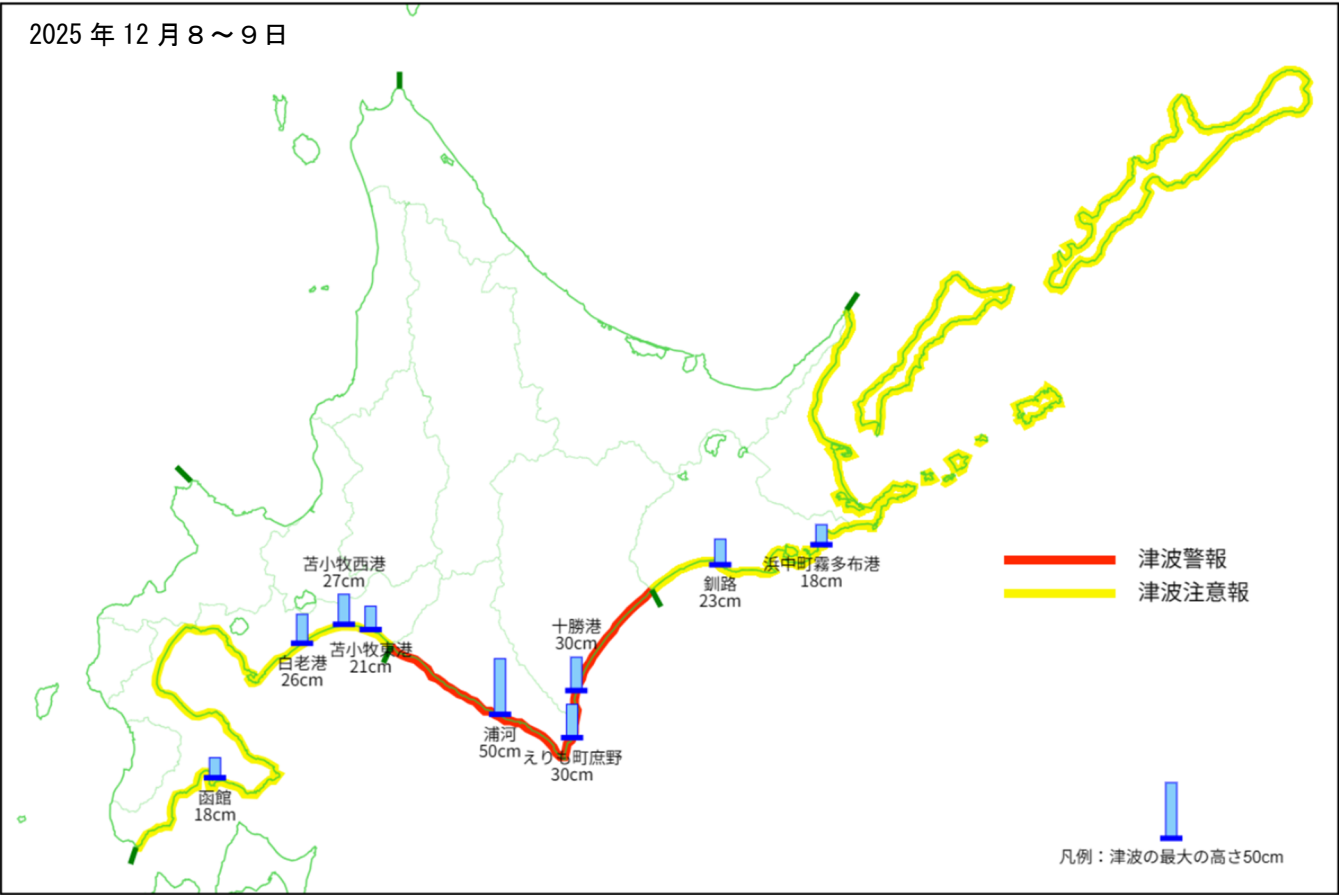
北海道		北海道	北海道
太平洋沿岸東部		太平洋沿岸中部	太平洋沿岸西部
12/8	23:17	津波注意報	
	23:23	津波注意報	津波注意報
12/9	06:20	解除	解除
12/12	11:52	津波注意報	
12/12	14:05	解除	

津波警報・注意報の種類と発表基準

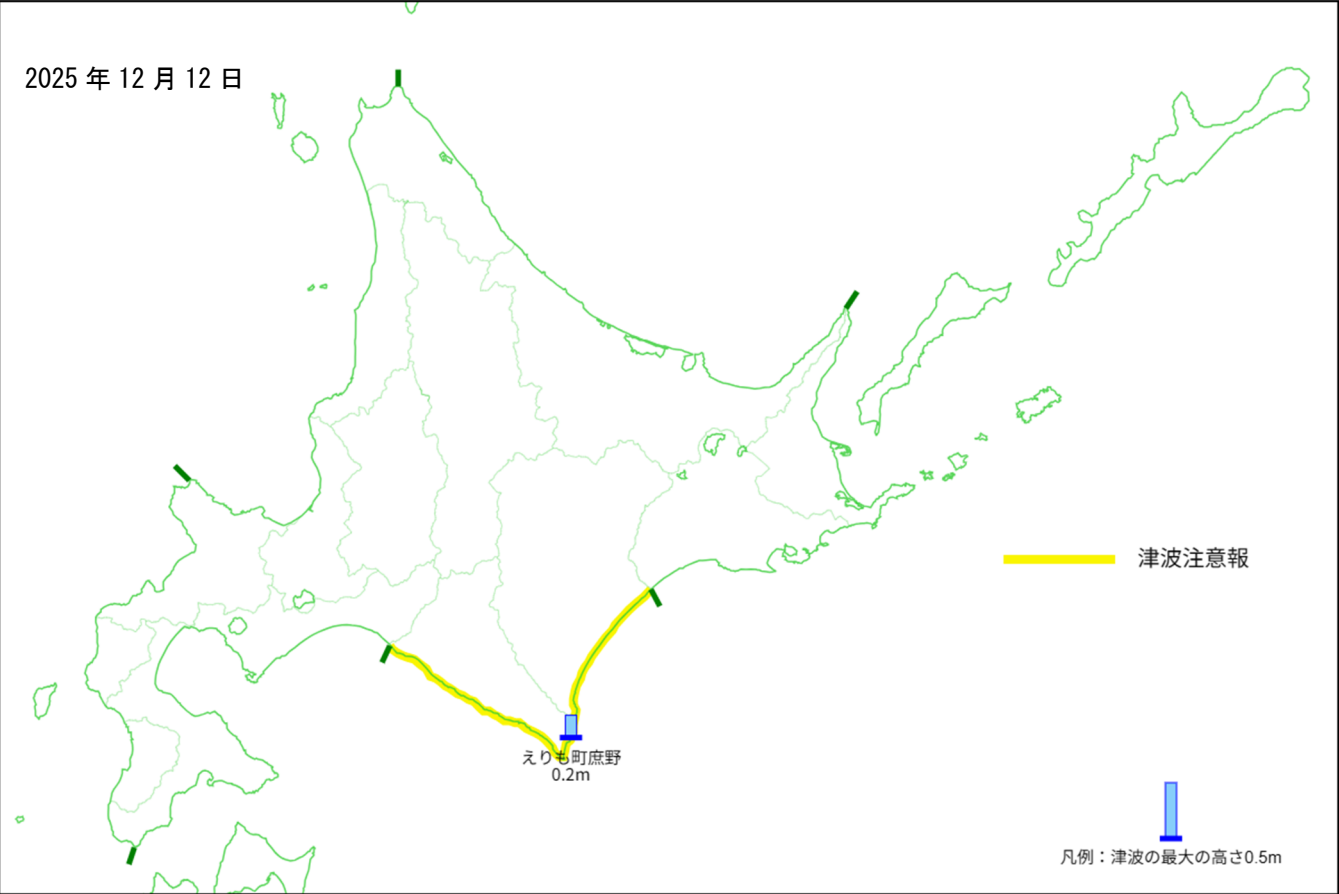
	予想される高さ		
大津波警報	3m	～	
津波警報	1m	～	3m
津波注意報	20cm	～	1m



3. 津波の観測状況（暫定値）と北海道の津波予報区



※データは暫定値であり、今後変更されることがあります。



データは暫定値であり、今後変更されることがあります。

【防災メモ】

～冬の地震・津波への備え～

発生が切迫しているとされる千島海溝沿いの巨大地震・大津波をはじめ、冬に大地震が起これば、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さによるリスクが増大します。自分の身の安全を守るため、冬の大地震や津波には以下の点にも注意して備えてください。

1. 雪や凍結路に対する備え

屋根に雪が積もっていると、地震の揺れにより落雪したり、雪の重みで家屋が倒壊したりする恐れが大きくなります。落雪は人を巻き込む危険があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので十分に注意しましょう。山沿いや傾斜地では雪崩にも注意が必要です。また、路面が凍結していると滑りやすく、避難の移動中に転倒して負傷する恐れもあるため、路面状況をよく確認し慌てず避難しましょう。



冬は積雪や吹雪などにより夏に比べて避難に時間がかかります。各市町村のハザードマップで、避難場所や避難所、津波避難ビルを確認し、なるべく複数の避難経路を想定しておきましょう。



2. 火災に対する備え

暖房を使っている冬場に地震が発生すると、火災のリスクが高まります。暖房器具に転倒時の自動停止機能があっても、停電から復電すると再起動したり、損傷した電気配線から漏電したりして出火する「通電火災」の可能性があります。

避難の際はブレーカーを切ってガスの元栓を閉めるようにしましょう。地震を感知して自動的に電気を遮断する感震ブレーカーを設置することも有効です。

3. 寒さへの備え

地震で電気やガスが止まり、普段の暖房器具が使えなくなるかもしれません。在宅避難に備えて、停電時にも使用できる暖房器具と燃料を用意しておきましょう。冬に屋外や寒い屋内に避難する場合は、低体温症にならないために、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなども用意しておきましょう。

特に衣類が濡れて体が冷えてしまうと、低体温症によるリスクが高くなりますので、着替えを準備しておくことや、着替えをポリ袋に入れて濡らさない工夫も必要です。冬は身支度に時間がかかるので、これらをいつでも持ち出せるようにしておきましょう。

